

公民館事業での取組について

1 幼児・児童青少年・親子を対象とした公民館事業

(1) 概要

項目	内容
根拠等	社会教育法 第 20 条
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭教育に関する学習の機会を提供するための講座の開設及び集会の開催並びに家庭教育に関する情報の提供並びにこれらの奨励に関すること</li> <li>・ 主として学齢児童及び学齢生徒に対し、学校の授業の終了後又は休業日において学校、社会教育施設その他適切な施設を利用して行う学習その他の活動の機会を提供する事業の実施並びにその奨励に関すること。</li> <li>・ 青少年に対しボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動その他の体験活動の機会を提供する事業の実施及びその奨励に関すること。</li> <li>・ 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して学校、社会教育施設その他地域において行う教育活動その他の活動の機会を提供する事業の実施及びその奨励に関すること。</li> </ul>
設置	6 館
実施時間	開館時間 午前 9 時から午後 10 時 休館日 毎月第 4 月曜日、年末年始

(2) 平成 29 年度幼児・青少年・親子対象事業

事業名	内容等	対象	予定
家庭の教育力支援講座	家庭の教育力を育み、支援する事業を実施する。	幼児と保護者	10 月 (1 回)
子ども講座	子どもがともに体験・学習することを通して、新しい発見や学校外での仲間づくりにつなげる。	青少年	(4 回)
子ども体験講座	実験・工作を行い、本の読み聞かせによりさらに科学の楽しさを体験し、絵本への関心を持たせ、同じ空間で同じ体験を共有できる仲間作りの場を提供する。	小学生	7 月～ 8 月 (3 回)
子ども実践講座	子どもの遊びを取り巻く環境が貧弱になっていることを課題として捉え、近隣の小学生を対象に、屋外遊びのリーダーを育成し、学校の地域活動の時間に生かす。	小学生	4 月～ 6 月 (4 回)
子ども向け多文化共生講座	異文化体験を通じて異年齢交流と達成感を味わう。	小学生	12 月 (1 回)

事業名	内容等	対象	予定
子ども体験講座	天文学についての講座とワークショップ、国立天文台の見学をする中で子ども達の興味を引き出す。	小学生	7月 (2回)
子ども体験講座	日本文化である和食についての講義と実習。子ども達に伝統文化に触れる機会を提供する。	小学生	12月 (1回)
地域を知る講座	異世代間の交流を図りながら、新たな視点で地域の歴史や文化を学ぶことで、地域を再発見する。	小学生～ おおむね 30歳	7月～ 9月 (4回)
こわーいお話を聞く会	公民館利用サークルの協力を得て、近隣の小学生対象に実施する。	小学生 と保護者	夏休み (1回)
親子で楽しむ講座	親子でともに体験・学習することを通して、新しい発見や仲間づくりにつなげる。防災の視点も加味する。	乳幼児と その親	(4回)
親子対象講座	勤労層の保護者を視野に、暮らしの課題や仲間づくりを考える。	平日に働いている親と子	(2回)
0歳コンサート	乳幼児を持つ親がなかなか外出を楽しめないなか、公民館につどい、音楽を楽しみ交流を深める。	乳幼児と その親	7月 12月 (2回)
書初め講座	家庭では経験することが難しいことを体験する中で、公民館登録団体との交流を深め、楽しみながら各自の創造性を伸ばす。	小学生	12月 (3回)

(3) 平成28年度の親子対象事業実施の例

① 親子対象講座「グローバル教育ってなに？国際人になるための始めの一步」

事業名	親子対象講座「グローバル教育ってなに？国際人になるための始めの一步」 講師：桜井 高志（桜井・法貴グローバル研究所）		
事業内容	内容	「世界が100人の村だったら」と仮定して、各人に配布する「国籍、年齢、人口、平均寿命、教育（成人の識字率、中学への進学率）、MR5（5歳までいきられない子ども：1000人中）、安全な水、豊かさ、国民総所得」が書かれた役割カードに従い講師の質問に答え、参加者で考える。等	
	実施日	10月23日（土曜日） 午後1時30分～3時、午後3時10分～4時40分	
	定員	15組 (30名)	参加人数 (延人数) 4組+大人のみ参加3名 17人(大人10人、子7人)
アンケート結果	<p>◆子どものアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>赤い紙と青い紙を使った質問が少しむずかしかった。(小6)</li> <li>※人権に関する質問を「いいと思う(青い紙)」「いいと思わない(赤い紙)」で回答するもの。</li> <li>むずかしいけど、それが楽しかった(小4)。</li> <li>ムシをたべたくなかった(小1)</li> <li>※地域によっては虫を食べる文化(日本にも)があるのをプロジェクターで見た。自分にとっては理解できないものでも、地域によっては日常的なものがあることを知るもの。</li> </ul> <p>◆保護者のアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会の現状や将来を考える機会を得られてよかった。</li> <li>子ども達があきない工夫があってよかった。</li> <li>考える事が色々あり、普段あまり思わないような事も考えたりして楽しかったです。少し難しかったかもしれないが、いい機会だったと思います。</li> </ul>		

② 親子対象講座「働くお父さん、お母さんと作る動くおもちゃ」

事業名	親子対象講座「働くお父さん、お母さんと作る動くおもちゃ」 講師：堀尾 たいぞう（おもちゃコンサルタント）		
事業内容	内容	竹ひごにタコ糸通す、丸棒を紙やすりで削る、スプレーのりで2枚の紙を貼り合わせる、円カッターで厚紙を切る、折り紙で折鶴を折る、色紙をクラフトパンチで型抜きするなどの体験をしながら動くおもちゃを製作する。親子で相談しながら楽しく作品作りに取り組む。	
	実施日	7月23日（土曜日）午後1時30分～4時30分	
	定員	10組	参加人数 13組:父子4組、母子9組（延べ27人:親13人、子14人）
アンケート結果	<p>◆子どものアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>限られたパーツだけではなく自由に作れたからおもしろかった(5年)</li> <li>1人じゃ、むずかしそうだったけどママと一緒に作れたから楽しかった。(4年)</li> <li>むずかしかったけど、がんばったらできておもしろかった(1年)</li> <li>貯金箱のまわりに絵をかいたりするのが、面白かった(4年)</li> <li>お母さんがアドバイスをしてくれたから、すごいと思った。(5年)</li> <li>ひもを引っ張るだけで飛行機が回る仕組みがわかり面白かった(3年)</li> </ul> <p>◆保護者のアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日頃、ゆっくり手作りの物を作る時間がとれなかったので一緒に過ごせてよかった。</li> <li>子どもの色の好みや、切り方の丁寧さなど新しい発見があった。</li> <li>子どもが自主的に作り、子どもの成長を確認できて良かった。</li> <li>子どもと一緒におもちゃを作りながらコミュニケーションが取れたので、楽しめました。</li> <li>自宅で3時間かけて子どもと工作をすることはないので貴重な体験でした。</li> </ul>		

③ 親子対象講座「こわーいお話を聞く会」

事業名	親子対象講座「こわーいお話を聞く会」 講師：ひばりが丘公民館登録団体 朗読「草の会」 外		
事業内容	内容	地域サークルの協力を得、朗読「草の会」、室内のお化けの画を「水墨画を楽しむ会」、お話のめくりを「泉舟会」(書道)により、怪談の臨場感を盛り上げる。表情豊かにいろいろな声で語られる話に耳を傾け、子どもたちが生の語りの感動と迫力に触れる機会とする。	
	実施日	8月2日(火曜日)午後6時～7時15分	
	定員	50人	参加人数 延べ60人(子ども51人、大人9人)
アンケート結果	<p>◆子どものアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな声が上手で、とてもお話が上手だったからよく話がわかった。(1年)・変な顔とか、かっこいい顔とか上手だった(1年)・怖かった(年長、3年)・もっと怖くしてほしい(3年、5年、6年)</li> </ul> <p>◆保護者アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気を消して、ロウソクで1話だけでもお話を聞けたらいいのですが、それだと怖すぎちゃいますね。</li> <li>・紙芝居の様な絵があったら小さい子にもわかりやすく、もっと楽しめたと思います。</li> </ul> <p>◆演目①その声を探していたの ②空き家のこげあと(本当にあった怖い話より) ③予言写真(本当にあった怖い話より) ④うらない ⑤地下鉄のゆうれい ⑥耳なし芳一(本編前に 説明のお話あり)</p> <p>アンケートどの話がよかった?(重複回答有) ①6 ②4 ③9 ④14 ⑤20 ⑥17</p>		

④ 親子対象講座「0歳からのコンサート「絵本とうたとギターの出会い」」

事業名	親子対象講座「0歳からのコンサート「絵本とうたとギターの出会い」」 講師：ギタリスト：遠藤康之、絵本童話作家：大川久乃、音楽家：山本 唯		
事業内容	内容	「絵本」を言葉のリズムやうた、ギター演奏で体感し、一緒にリズムを取り、ゆったりと親子で聴く。また、参加型ワークショップで、お手玉やシフォン布を使い、声を出し、体を動かしたりと親子共に楽しむ。	
	実施日	7月14日(木)10:30～11:30	
	定員	70人	参加人数 74人 大人39人【女性34人(20代-6人、30代-23人、40代-5人)、男性5人(20代-1人、30代-3人、40代-1人)】 子ども35人【0歳-15人、1歳-12人、2歳-5人、3歳-2人、5歳-1人】
アンケート結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本を、ギターとうたと合わせて読むのが楽しかったです。</li> <li>・癒されました。・素晴らしかったです。・楽しかったです。ありがとうございました。</li> <li>・ギターが聴けてよかったです。</li> <li>・子どものためにと思い連れてきましたが、自分のためにここに来させてもらえたように思いました。涙でそうでした。ありがとうございました。</li> <li>・子どもも参加できる遊びの時間があって楽しかった。</li> <li>・内容はすごく楽しかったです。個人的には、午後がよかったです(子ども8か月)。</li> <li>・ギターも、絵本も、遊びもあってよかった。近隣の子育て役立ち情報も教えてくれてよかった。</li> <li>・子どもを伸び伸び楽しませてあげられ、親もやきもきすることなく楽しめました。</li> <li>・絵本の読み聞かせが多いと思っていたので、少し残念でした。</li> <li>・吉祥寺のカフェにいるかと思ってしまうくらい、素敵な音楽と語りでした。また、同じ出演者で催してもらえると嬉しいです。</li> <li>・歌声に癒されました。子どもなしでゆっくり聞きたいです。</li> <li>・歌声の少し先輩として、同じ目線に立っていただけたので共感できてよかった。</li> <li>・ギターの演奏が良かった。癒されました。演奏をもう少しききたかったです。</li> <li>・お手玉ねずみの手渡し、シフォン布遊びがよかったです。・笛(のような)楽器の音がおもしろかった。</li> <li>・「おかあさん」の歌がとても印象に残りました。</li> <li>・キャバツの歌が、楽器たくさんで楽しかったです。歌と本のコラボが印象に残った。</li> <li>・絵本に素敵な読み方があるものだな～と、親の自分が癒されました。ねずみのお手玉とてもかわいい!作り方教わりたいです。</li> <li>・すべて!でも歌声とギターとその他いろいろの楽器のハーモニーが素晴らしかったです。</li> </ul>		

(4) 平成 28 年度の子ども体験事業実施の例

①-1 子ども体験講座「はじめよう！理科読」その 1

事業名	子ども体験講座「はじめよう！理科読」～音の不思議を知ろう～ 講師：土井 美香子（NPO法人ガリレオ工房理事）		
事業内容	内容	「音」についての体験・工作により、家での生活音を探してみようと興味を持ってもらい楽しみながら学ぶ。音の原理を学び、いろいろな音の出し方など、講師が本を音読し、紹介することで、さらに理解を深める。	
	実施日	1月14日（土）・15日（日）午前10時～12時	
	定員	20人	参加人数  子ども15人  保護者13人  延 40人
アンケート結果	<p>◆子どものアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本をいろいろ読んでくれたところがいちばん好きです。</li> <li>声が出る仕組み、音が聞こえる仕組みが分かったし、みんなの糸電話をつなげたところが楽しい。</li> <li>うちわで雨の音やいろんな音を作り、自分でならせることがおもしろかった。</li> <li>工作をやってどういう仕組みで音がだせるかがわかってよかった。</li> <li>理科の性質をつかって楽しいおもちゃが作れたところがよかった。</li> </ul> <p>◆保護者アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先生のお話や本など身近なことをおもしろおかしく子どもと一緒に体験しながら学べて楽しかった。</li> <li>生活の中の音を集めて紙芝居ができあがり、1人1人担当で作りあげるのはとても良かった。</li> <li>親も興味が沸く講座で面白く、子ども達があきない講座内容はぐっと引きつけられ素晴らしかった。</li> <li>音について新しい発見がありとても新鮮でした。また手作り紙芝居は皆が参加し楽しく良かった。</li> <li>今日初めて知り合ったお友達と一つのお話を即興で完成させる…とてもワクワクしました。</li> </ul>		

①-2 子ども体験講座「はじめよう！理科読」その 2

事業名	子ども体験講座「はじめよう！理科読」～水の不思議を知ろう～ 講師：土井 美香子（NPO法人ガリレオ工房理事）		
事業内容	内容	「水」について、身近な材料で実験を通して楽しみながら学ぶ。わからなかった事を実験により学び、講師が本を読むことで、さらにより理解を深める	
	実施日	平成 28 年 7 月 16 日（土）～17 日（日）午前 10 時～12 時	
	定員	子ども 16 人、中学ボラ 8 人	参加人数  子ども 12 人、中学ボラ 4 人、保護者 10 人、延べ 42 人
アンケート結果	<p>◆子どものアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マーブリングのぎょうが色々あって良かった。もっと水の実験がしたかった。</li> <li>けんぴきょうを作るのが楽しかった。さいしょは花ふんが見えなかったが、見えてよかった。</li> <li>初めてのことばかりで、成功したり失敗したりしたがとにかく楽しかった。家でもやってみたい。</li> <li>子どもが楽しめる実験を用意して本も読んでくれたのがよかった。</li> <li>こうさくなど家でやったことがないし、とてもすてきな作品になってよかった。</li> <li>自分たちがわからないことを「実験」とすると予想ではなく本当になって、知ることが多かった。</li> </ul> <p>◆保護者のアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容も盛り沢山で、今まで目に止めなかった水に興味を持ち、家でも楽しく実験できる事を学んだ。</li> <li>先生の説明は分かり易く、集中して取り組めたし、叱り方も適確でとても勉強になりました。</li> <li>休憩も含む 2 時間がメリハリあって飽きずにあっという間に終わりました。</li> </ul>		

①-3 子ども体験講座「はじめよう！理科読」その3

事業名	子ども体験講座 ～空気であそぼう～「新聞紙ドーム」 講師：土井 美香子（NPO法人ガリレオ工房理事）			
事業内容	内容	私達の周りにある空気の性質を、身近な材料で実験を通して楽しみながら学ぶ。視聴覚室いっぱい新聞紙を広げ子どもから大人まで協力してドームを作り上げて中に入る体験もする。		
	実施日	11月27日（日） 午前10時～12時		
	定員	20人+当日30人	参加人数	子ども23人 保護者19人 延 42人
アンケート結果	<p>◆子どものアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空気についていっぱい知れたし、新聞紙ドームを作りそのあとやぶいてストレス発散ができた。</li> <li>いろんなものにあわ(くうき)がでたところがおもしろかった。(野菜の中にも空気があることの確認)</li> <li>新聞紙ドーム作りの組み分けをし、皆が協力してドームを作るところが一番楽しかった。</li> <li>みんなで協力してドームをふくらませるのがおもしろかったし最後こわすところが楽しかった。</li> </ul> <p>◆保護者のアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沢山の絵本の紹介、沢山の工夫がされた講義、大変楽しかったです。</li> <li>新聞紙がこんなドームになるとは…、想像をはるかに超えて大盛り上がり、子どもの笑顔が見れたそして、空気について4才で難しいと思っていたが興味を持ってくれた様子で参加して良かった。</li> <li>ドーム作りだけかと思ったが空気の絵本や実験まであって、充実した時間でした。</li> <li>皆で力を合わせて作る。それも人力で空気を送り込むのが良かった。作るから破るまで完結が良い。</li> </ul>			

② 子ども体験講座「子ども書き初め講座」

事業名	子ども書き初め講座 講師：公民館活動団体 書心庵メンバー			
事業内容	内容	「お正月」「希望の朝」「夢の実現」など、新年を迎える志のある言葉を味わいながら書く。「とめ」「はね」などの運筆の基本や、緩急のつけ方によって生まれる墨跡の太さ・細さなどの字の表情、全体のバランスへの留意などを学んだ。書道への興味関心呼び起こし達成感を味わう。 また、公民館活動団体にとって自分たちの学びを地域の子どもたちに還元する場となり、熱意と喜びをもって指導にあたり、循環型学習の実践の場とする。		
	実施日	12月24日(土)・25日(日) 午前10時～12時		
	定員	各15人	参加人数	各15人（延30人） 参加者学年別…6年生7人、5年生3人、4年生9人、3年生11人
アンケート結果	<p>◆子どものアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先生がていねいでやさしかった。(3年生)</li> <li>毛筆ができてしょしゃがすきになった。(3年生)</li> <li>いろいろなこつとかを1文字1文字ていねいにおしえてくれたからよかった。(4年生)</li> <li>とても説明が分かりやすく、聞きやすかったです。そして、いろいろなアドバイスをくれてきれいにできました。また、習字に興味をもちました。(4年生)</li> <li>先生がたくさんいて、アドバイスがほしいというがほしいという時にもらったり、なおす所をたくさん言ってくれてとてもはげみになった。ほめてくれるから、明るくなれた。(4年生)</li> <li>ふでをたててかくといいということをいわれてやったらとてもうまくかけたのでよかったです。(5年生)</li> <li>リラックスしてできてとても集中してでき、いい字を書くことができた。(6年生)</li> </ul>			
その他	新規事業として実施した昨年度は先着順で申込受付開始30分ほどで定員(15人)に達し、その後も30件以上の問合せがあったため、今年度は申し込み多数の場合は抽選とした(結果、8日間の受付期間でちょうど100人の応募があった)。定員も今年度は2日間各15人、計30人と増やした(初めての方優先)。需要の高さから、今後実施の際もなるべく多くの希望者が公平に機会を得られるような工夫と配慮を心がけていきたい。			

③ 子ども体験講座「おせち料理にチャレンジ！」

事業名	子ども体験講座「おせち料理にチャレンジ！」 講師：吉田 朋子		
事業内容	内容	講師が最初にデモンストレーションをしながら食材やおせち料理についての説明。作り方・おせちのいわれについての資料を渡し、事後にも日本の伝統行事や食文化について知識を深める。ごぼうの皮をこそげ取ったり飾り切りなどの包丁の扱いやだしのとり方など、和食ならではの調理方法を学ぶ。味付けの違う4品を自分で調理し、きれいに見えるよう考えながら盛り付けをすることで達成感があったようだ。普段はあまり好んで食べないような献立や食材でも、「おいしい」と楽しそうに味わっていた。	
	実施日	12月27日(火) 10～13時	
	定員	12人	参加人数
アンケート結果	◆子どものアンケート ・みんなできょうりよくできて、うれしかった。(小1) ・こんな体けんははじめてだからたのしかった。先生もとてもやさしかった。(小2) ・いろいろきったりしなきゃいけないから、ちょっとむずかしかった。(小2) ・おりょうりがすきだから、たのしかった。日本の文かをおしえてくれた。(小2) ・お正月りょうりをつくってよかったです。いえではあんまりお正月りょうりがつくれなからです。(小2) ・みんな協力して自分たちでさいしょから手作りでやってとてもたのしかった。(小4) ・いろいろわかったので家でもつくってみたいと思いました。(小4) ・わかりやすく説明してくれて、とても楽しかったです。また参加したいです。(小4) ・色々な食べ物を作れてみんなでおいしくできた。先生は細かい所をこうした方がいいよと教えてくれた。(小4) ◆保護者のアンケート ・おせち料理を教えてもらえるなんてすごい！と申込みましたが、参加できて良かったです。 ・自分が作れないので子どもに覚えてもらい、教えてもらおうと思います。		
その他	友達同士の参加もあったが6人ずつ2班にし、初めて会う子どもでも和やかな雰囲気を楽しそうだった。講師のアシストもあり、調理の段取りを考えながら協力して作り上げるグループワークとしても効果があった。 受付開始20分ほどで定員に達した。その後も申込みや問合わせがあり、補欠も含め20人以上お断りすることになり関心の高さがうかがえた。 保護者からは「子どもが料理をしたいと言っても時間もかかるし教えてあげられない」「普段できない料理ができることに興味があった」などの声もあった。 献立：お雑煮・お煮しめ・芋きんとん・紅白なます 参加者：〈1年〉男1 〈2年〉男1、女3 〈4年〉男2、女4 〈5年〉男1		

④ 子ども体験講座「子ども向け多文化共生講座 ブラジル・香港・イギリスをみつめる」

事業名	子ども向け多文化共生講座 ブラジル・香港・イギリスをみつめる 講師：福田 美智江			
事業内容	内容	ブラジル、香港、イギリスの場所や大きさを世界地図を利用して知り、また映像を見ながら食や町の様子等理解する。また、英語・広東語・ポルトガル語で挨拶や数の数え方を知る。英単語を用いたゲームにより、日本語以外の言語を身近に感じたり、世界地図を使い自分が行ってみたい国に色を塗り1人ずつどうして行きたいかを発表したりした。ゲームや発表を通して受講者同士のコミュニケーションを深める。		
	実施日	11月12日、11月19日 ※小学校で行事等があり2回連続の出席が難しかった。		
	定員	20人	参加人数	10人 延 16人
アンケート結果	<p>◆子どものアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞きやすかった。また聞きたい。もっとやりたい。</li> <li>・またこのようなことを行っていたら、また参加したい</li> </ul> <p>◆保護者のアンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと参加をして自分も学ぶことができた</li> <li>・楽しかった。外国をわかりやすく伝えてくれた。</li> <li>・他の国のことを知る機会を子どもに与えられてよかった</li> </ul>			

⑤ 子ども体験講座「地域課題を考える講座「生きる力をつける！子ども防災講座」

事業名	地域課題を考える講座「生きる力をつける！子ども防災講座」 講師：小野 修平			
事業内容	内容	谷戸小学校の学区にある「いこいの森公園」にどんな防災機能があるのか、講師の案内で実際に見、説明を受けた。空き缶で炊く空き缶ごはん、ポリ袋ごはんを実施する。		
	実施日	12月10日（土）10～12時半		
	定員	20人	参加人数	子ども9人 保護者7人 延 16人
アンケート結果	<p>&lt;子ども用アンケートより&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あきかんでごはんをつくるのはたのしかったけど目にしみた。でもたべたらおいしかったです。(小1)</li> <li>・ごはんもいえでつくるよりもおいしかったです。もう1かいやってみたいです。(小1)</li> <li>・今回おしえてもらったことをおぼえておいて、またやりたいです。(小2)</li> <li>・かんでお米をたくのはむずかしかったけど、たのしかったしおいしかったです。(小2)</li> <li>・最初はむずかしそうだと思ったけど、やってみたら楽しかったので家でもやってみたい(小4)</li> <li>・災害で電気やガスが止まっても缶などでごはんが作れるのがすごいと思いました。(小4)</li> </ul> <p>&lt;保護者用アンケートより&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の説明がわかりやすく、防災について家で話したことがないのでこれを機会に話していこうと思います。</li> <li>・公園の設備も知らない事が多く、子ども達、親にもためになる講座でとても学びの多い時間となりました。</li> <li>・空き缶ごはんは大変でしたが、上手に炊けて喜んでいました。ポリ袋ごはんは家でも試してみたいと思います。</li> <li>・資料も事前に頂き、子供達のレベルに合わせてわかりやすく説明してくださりありがとうございました。</li> <li>・火を使うことはあまりないため、経験できて良かったです。子供が興味がわく手順でわかりやすかったです。</li> <li>・普段なかなか体験出来ない事が出来、あらかじめ色々用意して頂いたのが時間に余裕があって良かったです。</li> </ul>			